

令和5年度 (2023年度)

事業報告書



- 前 文
- ・ 法人 運 営
 - ・ 施設事業運営
 - ・ 地域との関連
 - ・ 会 計
 - ・ 添 付 書 類

社会福祉法人 正 和 会

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 正和会

★前文

きめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園、確かな保育理念と熱い情熱を持った保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともには保護者から大変に高い評価を得るとともに、『保育園まるごとランキング』という保育園のランキングサイトにおいて、小平市の『保護者の評判の高い保育園』第1位と5位にランキングされるなど、高い評価を受けるようになっている。

しかしながら、5月には新型コロナウイルス感染症も感染症5類となり、ようやく以前の生活に戻り、園行事も保護者が参加する形で開催できるようになった。

毎日の保育の中で、常に子ども達の笑顔のために何が出来るかを職員一同で考え知恵を絞りながら保育を行ってきた。

1. 法人運営

(1) 実施事業

当法人は、児童福祉法に基づき子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に増進し、併せて地域における全ての子育て家庭に対して育児・子育ての支援を行うため、次の社会福祉事業を行いました。

◆第二種社会福祉事業

1. 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員

2. 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-11-26
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

令和5年度は4回の理事会を開催した。

- ・5月27日 令和4年事業報告及び決算計算書類の承認、
次期役員候補の承認
定時評議員会の開催についての承認

- ・ 6月 7日 理事長の互選
理事長の職務実施状況報告の承認について
- ・ 3月 8日 令和5年度補正予算の承認
令和6年度事業計画及び予算の承認、
理事長の職務執行状況の報告

2, 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480

イ、健康管理

1. 健康診断

年間計画に沿って0歳児定期健康診断12回、全園児健康診断2回、および1回の新入園児健康診断を実施した。

0歳児健診は第3 金曜日が実施日となっている。

0歳児の保護者には、体調不良時以外は受けていただくよう事前に促し、お伝えすることとしている。

2. 歯科検診

6月と12月の2回の健診を実施した。

検診の結果 うさぎ組：0歳児 あひる組：0歳児 きりん組：2歳児

- ・ 0、1、2歳児のむし歯保有者はいなかった。

口腔清掃状況も「普通」でした。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。

- ・ 0歳児：仕上げ磨きの練習も0歳児では、口を開けることを嫌がる児もいたが、終盤には全員嫌がることなくできた。1月より仕上げ磨き開始予定である。
- ・ 1歳児：航空環境は良好であった。
- ・ 2歳児：6・12月ともに反対咬合2名。次回、健診時に再観察し、経過観察となる。

※新型コロナウイルス感染症の拡大の観点から、社会情勢を鑑みうがいのみの対応とした。

3. 腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー保育士、調理室、園長、主任、看護師）については毎月検査を行った。

結果は年間を通して全職員陰性であった。

4. 職員検診

10～12月の3ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。生活習慣病健診対象者 8名、法定健診対象者 13名であった。また全職員、血液検査と心電図の検査項目を追加して行った。雇入れ時健診も入職者全員に対して実施した。

5. ほけんだより

年間で16回の保健だよりを発行した。

6. 保健指導

4月：うさぎ組クラス懇談会にて入園初年度の集団生活における体調管理心得などを伝達した。

6月：歯科検診導入保健指導としてあひる組・きりん組に絵本「はみがきれいっしゃ」くぼまちこ ペープサート「まめ子ちゃんの歯科検診」を行った。

8月：職員会議にて職員向け手洗い指導①。手洗い手順再確認した。

10月：きりん組 進級に向けて手洗い指導の実施。絵本「ぴかぴかおてて」手洗いデモンストレーション「おててをきれいにあらいましょう」（「あめふりくまのこ」のメロディ）後、順番に液体せっけんを用いて水道で手洗いを実施した。

あひる組・きりん組の水道正面に手洗い手順ポスターをはった。

11月：きりん組 鼻かみ指導 3グループに分けて実施 一部「あいうべ体操」利用した。指導後石鹸にて見守り手洗い施行した。

12月：歯科検診導入保健指導として、あひる組・きりん組にパンダのパペット・ペープサート「まめ子ちゃんの歯科検診」を行った。

2月：きりん組 手洗い指導 うがい指導

7. ひめゆり広場事業での保健活動

・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「わくわくひめゆり」は開催しなかった。

8. 病気欠席状況

<感染症など>

- | | | |
|-------|------------------|----|
| ・うさぎ組 | 9月：手足口病 | 4名 |
| | 12月：新型コロナウイルス感染症 | 3名 |
| ・あひる組 | 8月：突発性発疹 | 1名 |
| | 手足口病 | 4名 |
| | 9月：RSウイルス感染症 | 3名 |
| | 手足口病 | 1名 |
| | 10月：ウイルス性胃腸炎 | 1名 |
| | 11月：新型コロナウイルス感染症 | 1名 |
| | 12月：突発性発疹 | 1名 |
| | 新型コロナウイルス感染症 | 2名 |

1月：新型コロナ感染症 3名

- ・きりん組：5月：新型コロナ感染症 6名
- 6月：新型コロナ感染症 1名
- 8月：ヘルパンギーナ 2名
- 9月：RSウイルス感染症 1名
- 12月：新型コロナ感染症 1名

9. 怪我等への対応

擦り傷、切り傷、打撲、鼻出血等、軽症のものは日常的にあったが、それぞれ、洗浄、止血、ワセリン塗布、冷却等の対応を行った。

【受診件数】

- きりん組 1件 (再診0回)
- あひる組 2件 (再診0回)

10. 食物アレルギー対応

うさぎ組 男児 牛乳・小麦粉アレルギーにて2/25アレルギー面談施行。(主任・栄養士) 牛乳は麦茶に置き換え、小麦粉を使用した食品は除去や代替品を提供した。緊急時の搬送先の病院が公立昭和病院となる。

11. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、5月にあおぞら福祉センターより専門員が派遣され、午前中に該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

- 5/21 小平市巡回相談 相談員福永氏 新型コロナ感染症の影響により中止となる
- 7/20 小平市巡回相談 相談員福永氏
- 10/24 小平市巡回相談 相談員福永氏
- 1/19 小平市巡回相談 相談員福永氏

12. その他

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・職員は全員、毎朝検温し、出勤時に検温用紙に体温と咳嗽・鼻汁の症状の有無を記載してもらう。
- ・門から入ったら入室前に水道にて手洗いを行うように務める。
- ・送迎表に「家族の体調不良」確認欄への記入
- ・園内環境整備 アルコール消毒(午前・午後)

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

日本の行事食・伝統食についても同様に、掲示や給食だより等で保護者へお伝えした。小平市内にある直売所マップを活用し、ご家庭に於いても旬の食材に触れる機会を増やせる様に情報提供を行った。

離乳食

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際にはコロナ禍の中、出来る範囲で保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し食事を提供することが出来た。

乳児食

アレルギーによる除去食の希望が1名あった。(牛乳・小麦粉)

年間を通して、トレーを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去(または代替)内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。持参のお弁当の受け取り、保管、提供方法のマニュアルを作成し、職員間での情報を共有した。

献立表に除去(または代替)内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努めた。食事の提供の際には、正職員と栄養士又は、調理師が献立表を見ながら除去となる食品の確認をしながら安全に受け渡しを行った。

*災害備蓄の入れ替え等により、配布がある場合は原材料の掲示、伝達を徹底し対応した。

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、一人ひとりの発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安 全 管 理

正面玄関のクローザー機能が稼働しない事から取り換え工事を行った。また、コンビカーやソリ等の遊具については、破損の具合によって新しいものと交換し対応した。

カ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティング・リーダー会議を数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。受講者は職員会議等を利用し研修報告をし、職員会議等で情報共有した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個職員が個々でセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との関連

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、子育てひろば『わくわくひめゆり』見合わせた。園庭開放については、5月から39回実施した。

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生計7名受け入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年職業意見を受け入れている小平市立小平第六中学校、小平第三中学校、保谷中学校ともに職業体験授業が中止となったために受け入れはなかった。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

1・健康診断

毎月第2もしくは第3火曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行い、体調不良以外で休んだ場合は、保護者とともに園医を受診して頂き、個別に健診を行って頂いた。

いるか組、くじら組は、年2回健診を行った。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は5歳児2名、12月は4歳児1名、5歳児2名だった。検診後に、歯科受診を促し、早期治療が行えた。

3・視力測定

9月(5歳児)・11月(4歳児)・1月(3歳児)に測定を実施した。

気になる様子があった児は状態を保護者に伝え、眼科受診を勧めた。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員(パート、保育補助を含む)を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。結果は年間を通して「陰性」であった。

11月に調理職員4名はノロウイルスの検査を行い、結果は「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を9～12月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。

希望者には、がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心がもてたのではないかと思う。

入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

8月を除き、毎月保健だよりを発行した。

7・保健指導

5月 プライベートゾーン（くじら組）

6月 歯磨き指導（いるか組・くじら組）

11月 うがい指導（3歳児） 手洗い指導（いるか組） うがい・手洗い指導（くじら組）
食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）

12月 歯磨き指導（くじら組）

1月 うがい指導（2歳児） 咳エチケット（くじら組）

2月 歯磨き指導（3歳児）

3月 うんちの話（3歳児） 就学にむけて（5歳児）

8・内服薬と薬状況

なし

9・巡回相談

6月・9月・11月・1月の計4回、株式会社シーズプレイス（小平巡回相談事業委託事業者）の先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・怪我、通院について

<怪我・通院：6件>

- ・4月（2歳児）：排泄時に、保育者が腕を引っ張った後から左腕を痛がる。昭和病院を受診し、左肘内障と診断され、整復される。
- ・6月（4歳児）：保育室内で遊んでいる時に、他児が上から覆いかぶさり、右腕を痛がる。山之内整形外科を受診し、右肘内障と診断され、整復される。
- ・10月（1歳児）：室内で転倒し右上前歯の歯茎より出血あり。河野歯科医院を受診し経過観察となる
- ・12月（5歳児）：園庭で鬼ごっこをしている時に転倒する。右上前歯に出血、動揺あり。鈴木歯科医院を受診し経過観察となる。
- ・2月（2歳児）：座っている児を立たせようと保育者が腕を引っ張った後から右腕を動かさず。山之内整形外科を受診し、右肘内障と診断され、整復される。
（3歳児）：室内で他児と衝突し飛ばされる。机の角に顎をぶつけ裂傷あり。一橋病院を受診し、経過観察となる。
- ・3月（5歳児）：公園の遊具の階段で転倒し、口元、顎をぶつける。右下前歯の動揺、歯茎の出血あり。はなこどもの歯のクリニックを受診し経過観察となり
1週間後の再診指示となる。

11・感染症の流行について

- ・7月：RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ
- ・9～10月：インフルエンザ、溶連菌感染症の流行があり、発熱する児も多かった
- ・11月：手足口病
- ・1月～3月：インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
昨年と比べ、感染症の流行がみられたが、重症化する児はいなかった。

ウ、栄養管理・栄養指導

各クラス栄養士・調理士が栄養指導、食具の使い方、マナーの指導を行う。給食時にはクラスを巡回し日々個々に栄養・食具の使い方・マナーを伝える。

離乳食についても細やかな対応を行う、食事段階ごとに面談を行い子ども1人1人に合わせた栄養指導を行った。月齢が低い乳児1名はミルクのみからの対応。

卵アレルギー児童1名、飲用牛乳除去児1名(乳糖不耐症の診断書あり)は、給食の個別対応、食事対応の面談を行う。

・食育について以下の通りを行った。

毎月行うもの くじら組調理保育おにぎり作り、箸指導

	対象クラス	内容	ねらい
4月	くじら	三色食品群の話	食品の栄養(三食食品群)を知り、食選力へつなげる 食材に興味を持たせる
	いるか	三色食品群の話・食事のお約束の話	食品の栄養にふれ、食に興味を持たせる 大型絵本を使用し食事のマナーを知る
	くじら	味噌作り	大豆が様々な食べ物に変化していくことを知る
	くじら	配膳と黒米、白米について	配膳の仕方、マナーを知り日々活用していく 白米の構造と黒米のついて知る
5月	いるか・くじら	種まき(枝豆)	大豆の変化を知る (大豆から枝豆)
	いるか	そら豆のさや剥き	実際にさやをむき、五感から楽しみ食材に興味を持つ
	くじら	食事・箸のマナー	配膳の仕方、箸の使い方の基本を知る
	全園児・職員	防災食を食べよう	園の備蓄防災食を給食で食べ、防災食の作り方や味を知る
	くじら	おにぎりを握ろう	自分のおやつのおにぎりを握り、お家でのお手伝いや箸を持つときに必要な手先の器用さにつなげる 毎月行う
6月	くじら	箸指導	箸を正しく持てるように練習する これより月に2回練習を入れていく
	いるか・くじら	小平夏野菜カレー・野菜の栄養について	地場産の野菜を使用し、その野菜について知る
	いるか・くじら	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
7月	くじら	とうもろこし皮むき	旬の食材を知り、食材の形状を知る
	いるか	スプーン指導	スプーンの正しい持ち方を知り、持てるようになる
9月	全園児 職員	防災食を食べる(ビスコ)	防災食の味に慣れる 防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知る
	全園児	だしについて	日本古来のだし文化に触れ、出汁の種類、味の種類を知り 年明けの豚汁(手作り味噌)の出汁を子どもたちと決める
	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
10月	いるか・くじら	大豆からもやし作り	枝豆に続き大豆の変化を知る。
	全園児	まごはやさしい味噌汁	頭文字のまめ・ごま・わかめ・やさしい・魚・しいたけ・芋を使用した 栄養バランス良いメニューの紹介
	全園児	小平産ブルーベリー	地場産の食材を使用、目の日にちなみブルーベリー
11月	くじら	新米	クラスにて新米を炊き、香りや美味しさを知る
12月	くじら	鏡餅作り	神様にお供えする鏡餅を作り、食への感謝の気持ちを知る
	いるか・くじら	おせち料理の由来を知る	媒体のおせちより、日本古来の行事食を知り、料理に込められた意味を理解する
1月	いるか・くじら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る (セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)
3月	くじら・ランドセル	お散歩給食	卒園児は友達との最後の交流を深める 新くじら組で外での給食を楽しむ
	くじら	卒園児リクエストメニュー	今までの給食を思い起こしメニューを考える

・行事食 保育園の行事や日本の伝統行事・旬に合わせて、行事食を提供した。

4月:たけのご飯

5月:そら豆

6月:小平夏野菜カレー、目の日(小平産ブルーベリー使用) 7月:七夕 土用の丑の日
9月:お彼岸(おはぎ)・お月見団子 11月:冬至(かぼちゃ) ハロウィン
12月:クリスマス、餅つき 1月:お正月料理各種
2月:節分 3月:ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸(ぼたもち)

・毎月 誕生日メニューと手作りケーキ

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安 全 管 理

めだか組の柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施したほか、クラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

新たに採用された職員は『上級救命講習』を受講すると共に、調理職員1名が新たに『離乳食インストラクター2級』の資格講習を受講し認定を得た。

また、3年以上の経験を積んだ職員にはキャリアアップ研修を積極的に受講するよう薦めたので、該当者は全員受講を完了した。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。

3, 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。
別紙決算書の通りである。

4, 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、